

(法第28条第1項関係様式例)



2022年度事業報告書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

法人名：NPO法人FUN LIFE

1 事業の成果

令和4年度(2022)は計画した事業の内「成人・高齢者の心身の健康増進に関する事業」、および「生涯学習に係る活動および普及啓発に関する事業」に関しては年間を通じて活発に活動することができた。「青少年の健全育成に関する事業」については今期活動実績はありません。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
成人・高齢者の心身の健康増進に関する事業	(1) 武道(空手)の稽古および、(2)「KARATEエクササイズ」を開催し、こころとからだの健康増進活動に取り組みました	(1) 週2回 (2) 週1回	(1) 熊本市総合体育館 (2) メディカルフィットネス YAMATO	1名	(1) 熊本市内在住者 10名 延べ 127名 (2) 熊本市内在住者 15名 延べ 220名	82
生涯学習に係る活動および普及啓発に関する事業	余暇を楽しむ生涯学習活動として「描いて楽しいおとなの筆文字(伝筆)」講座を開催しました	通年 不定期	くまもと森都心プラザ	1名	熊本市内在住者 30名 延べ 116名	415

(2) その他の事業

なし

定款第5条に掲げる「青少年の健全育成に関する事業」は、前期2事業を優先し定着化させるために今期は見送り、時機を見て取り組む予定です。

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

NPO法人 FUN LIFE

科目	年間合計	
	予算	実績
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	40,000	33,000
賛助会員受取会費	40,000	33,000
受取寄附金	0	0
受取寄附金	0	0
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	0
4 事業収益	1,234,700	947,106
(1) 青少年の健全育成に関する事業	0	0
(2) 成人・高齢者の心身の健康増進に関する事業	517,500	215,171
(3) 生涯学習に係る活動および普及啓発に関する事業	597,200	731,935
(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	120,000	0
5 その他収益		
受取利息	0	0
雑収入	0	0
経常収益計	1,274,700	980,106
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費小計	630,000	0
(事) 役員報酬	630,000	0
(事) 給料手当		0
(事) 臨時雇賃金		0
(事) 法定福利費		0
(2) その他経費小計	623,600	496,339
(事) 旅費交通費	30,000	22,510
(事) 通信費		56,602
(事) 送料・運賃		9,480
(事) 研修費		40,300
(事) 印刷製本費	80,000	15,478
(事) 広告宣伝費	108,000	49,897
(事) 事務用品費		0
(事) 消耗備品費	212,000	196,227
(事) 水道光熱費		0
(事) 地代家賃		0
(事) 保険料		0
(事) 会議費		0
(事) 施設利用料	133,600	100,950
(事) 謝礼金	60,000	0
(事) 雑費		0
(事) 手数料		4,895
事業費計	1,253,600	496,339
2 管理費		0
(1) (管) 人件費小計		0
(管) 給料手当		0
(管) 役員報酬		0
(管) 福利厚生費		0
人件費計	0	0
(2) その他経費小計	18,000	476,590
(管) 旅費交通費		53,316
(管) 通信費		276,647
(管) 送料・運賃	3,000	1,374
(管) 印刷製本費		204
(管) 広告宣伝費		27,000
(管) 事務用品費		1,540
(管) 消耗備品費	5,000	83,389
(管) 水道光熱費		0
(管) 地代家賃		0
(管) 保険料		0
(管) 会議費	10,000	0
(管) 手数料		220
(管) 施設利用料		2,500
(管) 交際費		29,800
(管) 租税公課		600
(管) 雑費		0
管理費計	18,000	476,590
経常費用計	1,271,600	972,929
当期経常収支	3,100	7,177
III 経常外収益		
IV 経常外費用		
当期正味財産増減額	3,100	7,177
前期繰越正味財産額	21,052	21,052
次期繰越正味財産額	24,152	28,229

(備考)

- 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動計算書はそれぞれ別に作成する。
- 設立時の資産がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動計算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する人件費及びその他の経費で、管理費以外のものをいう。事業の種類ごとの費用を表示する場合には、注記において区分して記載する。

2022年度 貸借対照表
R5年3月31日現在

法人名 (NPO法人FUN LIFE)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金	11,630		
預金	16,599		
未収金	0		
流動資産合計		28,229	
2固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			28,229
II 負債の部			
1流動負債			
短期借入金	0		
預かり金	0		
流動負債合計		0	
2固定負債			
長期借入金	0		
退職給与引当金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		21,052	
当期正味財産増減額		7,177	
正味財産合計			28,229
負債及び正味財産合計			28,229

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別業として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和 4 年度)

法人名：NPO法人FUN LIFE

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1. 重要な会計方針

活動予算書の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

単位:円

科目	青少年の健全育成に関する事業に係る事業費	成人・高齢者の心身の健康増進に関する事業に係る事業費	生涯学習に係る活動および普及啓発に関する事業に係る事業費	各種イベントに関する事業に係る事業費	その他この法人の目的を達成するために必要な事業に係る事業費	合計
(1) 人件費						
役員報酬						0
給料手当						0
臨時雇賃金						0
法定福利費						0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
(事) 旅費交通費		22,010	500			22,510
(事) 通信費		0	56,602			56,602
(事) 送料・運賃		0	9,480			9,480
(事) 研修費		0	40,300			40,300
(事) 印刷製本費		410	15,068			15,478
(事) 広告宣伝費		0	49,897			49,897
(事) 事務用品費		0	0			0
(事) 消耗備品費		34,246	161,981			196,227
(事) 水道光熱費		0	0			0
(事) 地代家賃		0	0			0
(事) 保険料		0	0			0
(事) 会議費		0	0			0
(事) 施設利用料		25,000	75,950			100,950
(事) 謝礼金		0	0			0
(事) 雑費		0	0			0
(事) 手数料		0	4,895			4,895
その他経費計	0	81,666	414,673	0	0	496,339
合計	0	81,666	414,673	0	0	496,339

3. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計	0	0	0	0	0	0

4. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

2022年度財産目録
R5年3月31日現在

法人名(NPO法人FUN LIFE)

科目・摘要	金額(単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金(現金手許有高)	11,630	
普通預金(肥後銀行水道町支店)	16,599	
流動資産合計		28,229
2 固定資産		
(1)有形固定資産	0	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産	0	
固定資産合計		0
資産合計		28,229
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		28,229

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、財産目録の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別業として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。